



2007-08



国際ロータリーのテーマ「ロータリーは分かちあいの心」 会長/ウィルフリッド・J・ウィルキンソン(カナダ)
 2620地区のテーマ「情熱と行動」 ガバナー/道部 乗(沼津北RC)
 パワー浜松ロータリーのテーマ「見える組織、溢れるパワー、溢れる奉仕」 会長/原田道子

週報

第254回例会 4月15日(火)AM7:30 ~ 8:30 オークラホテル4F平安の間
 司会:坂本順香 点鐘:原田道子 ロータリーソング:新ロータリーソング
 ゲスト:山本純夫様(浜松北RC)

会長挨拶

甲斐ロータリークラブの10周年イベントに参加してきました。ガバナー、パストガバナー、地区役員、各クラブの会長が見え、韓国から姉妹提携の調印式の為にたくさんの方が来日していました。韓国のクラブとのマッチンググラウンド、世界寺子屋運動をしていました。それについて少しお話しします。「世界のすべての人に教育を」と書き損じの葉書を回収し、それを1枚45円の切手にするとインドでは給食4食分になる。ネパールでは鉛筆7本になる。世界には7700万人の子供たちが学校に行けないそうです。浜松西RCは昨年11月にカンボジアに460台の自転車を送ったそうです。パワー浜松RCも外に向けて何か奉仕活動を探していきたいですね!

幹事報告

- ・メールボックスの中に地区大会の記念誌、及びDVDが参加した方のみですが入れてありますのでご確認下さい。
- ・5月9日に浜松中ロータリーの例会にてスズキ自動車の鈴木会長の『行政改革について』の卓話があります。参加されます方は事務局まで申込み下さい。
- ・ローターアクトより、4月24日の4月第二例会にてIHによる料理例会が開催されますのでこちらの方も事務局までお申込み下さい。

委員会報告

会計委員会 鈴木宏幸さん/今月25日が今年度最後の会費納入となりますのでご確認ください。
 会員増強委員会 山尾委員長/5月10日に地区の行事として「女性会員を励ます会」が開催されます。現在参加者を募集中です。



新ロータリーソング

スマイル報告

滝浪實：今年4/1より浜松市医師会の副会長となりました。地域医療のため更に頑張っていきますので宜しくお願い致します。
 館雄二；4/15に浜松武道館で館雄二がパワー浜松ロータリークラブ合気道同好会を発足します皆さんの参加をお待ちしております。宜しくお願い致します。
 仲秋篤志；弊社が作成したヘッジファンドの紹介を配らせて頂きます。他にも色々なファンドを紹介できますので興味のある方はお気軽にお声を掛けて下さい。

出席報告

98名中67名68.37%
 前々回修正出席率63.16%



国際ロータリー第2620地区・静岡第7分区分
 パワー浜松ロータリークラブ

コラム

お産難民 その3

人間のお産は難産が多いので、腹帯には安産を願って犬印のマークがついています。人間が二足歩行を始めてから骨盤の形が出産には不向きな形になりました。産道が狭くなってきたのです。一方では知恵が発達して脳が大きくなり巨大な頭となりました。狭い産道と大きな頭で出産は大変危険を伴う事態となってきたのです。人間のお産が特に難しくなったのは進化と深いかわりがあるのです。犬でも頭の大きいブルドックは難産だといわれています。
 文> 成田喜代司

ハッピーバースデー

田淵邦彦；4月12日生まれ
 細田真弓(事務局)；4月5日生まれ



2007-08



国際ロータリーのテーマ「ロータリーは分かちあいの心」 会長/ウィルフリッド・J・ウィルキンソン(カナダ)
 2620地区のテーマ「情熱と行動」 ガバナー/道部 乗(沼津北RC)
 パワー浜松ロータリーのテーマ「見える組織、溢れるパワー、溢れる奉仕」 会長/原田道子

議事卓話

第2620地区インタラクティブ海外研修報告 浜松北ロータリークラブ 山本純夫様



2007～2008年2620地区インタラクティブ小委員会委員長を仰せつかっている山本です。昨年12月23日から27日にインタラクティブ海外研修としてカンボジアに行ってきました。この研修は以前は韓国やオーストラリアに行っていたのですが、2005年度に浜松北ロータリーがカンボジアに小学校を贈っていますので、その関係で今回はカンボジアに行きました。2026地区には20クラブ380人のクラブ員がいます。浜松には、浜松ロータリーの西遠女子高、浜松北ロータリーの聖隷クリストファー高と2つのクラブがあります。インタラクティブとは、14歳から18歳までの青少年または高校生を対象にロータリーが提唱して作っているクラブで、international action(国際的活動)を意味します。活動目的としては「指導力と誠実な人格の育成」「他者を尊重し、進んで助ける態度」「各自の責任を果たし、一生懸命努力することの貴さ」「国際理解と親善の推進」を掲げており、今回の研修は「国際理解と親善の推進」の一環として、女子高生16名とロータリアン3名を含む総勢21名で出かけてきました。初日は午前5時に起きて自動車で4時間程のウドンミエンチエイ小学校を訪問しました。浜松北ロータリーがこの小学校の1クラス50人の5クラス分の校舎を贈っています。区長や先生、生徒さん全員整列でのお出迎えのあと、授業参観と交流会に参加しました。2日めはポルポト政権時代の実業家や文化人達が拷問、処刑された刑務所跡とキリングフィールドと呼ばれる集団処刑墓地を見学、3日めはアンコールワットの遺跡群を見学しました。今回の研修ではカンボジアの現在を見ることと、現地から改めて日本を振り返ってみること、そしてカンボジアの歴史文化を見ることという3つのテーマがありましたが、3日間という短い時間の中で、内容の濃い研修が出来たと思っています。

